

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～
“みんなごと”のまちづくり推進事業

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター 派遣業務

令和元年度 事業実施報告書

令和2年4月

事業実施者：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

1. 市民サポーター派遣業務を実施しての成果、業務の課題

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務（以下、本業務）は、過去3ヶ年に引き続き、令和元年度も特定非営利活動法人きょうとNPOセンターが業務実施者として運営を行い、京都市がもっとよくなる、もっと住みやすくなるための市民による「まちづくり」の支援を目指し業務を実施した。

<成果>

令和元年度は、新たな市民サポーター派遣機会の創出と、登録サポーターのモチベーションの維持向上を大きなテーマとして、以下の活動に取り組んだ。

1. 各区役所の市民活動・地域活動を担当する部署への積極的な働き掛け

前年度に引き続き、各区役所が実施するカフェ事業などにおいて、本業務の紹介や派遣依頼の受付を行った。特に伏見区地域力推進室では区役所、醍醐支所、深草支所で行われた交付金の説明会に参加し、市民サポーター事務局が直接に相談対応することで、複数の団体から実際の派遣依頼につながった。

2. 「団体・サポーター マッチング会」の開催

前年度は京都府行政書士会と組んで行った「NPO・市民活動 お悩み相談会」をすべての市民サポーターを対象とした「団体・サポーター マッチング会」として実施した。5団体と8名の市民サポーターが参加し、4団体に8名の市民サポーター派遣につながった。

（詳細は、6. 研修・交流会等に記載）

3. 「市民サポーター登録証」の交付と「市民サポーターHANDBOOK」の配布（新規登録サポーター）

4. メールマガジン「市民サポーター通信」の発行

5月から毎月1回、メールマガジンを発行した。内容は、団体への派遣内容の紹介、おススメの講座・イベントの紹介、市民活動分野に関するミニコラムなどで構成した。そのほか、事務局主催のイベントを案内する臨時号も含め15本のメールを配信し、タイムリーな情報を届けてきた。

こうした活動の結果、令和元年度は14団体から32回の市民サポーター派遣依頼を受け、延べ19名の市民サポーターの派遣につながった。また「まちづくり・お宝バンク」への取組提案も、市民サポーター派遣を利用したいという団体から新たに6件行われた。

<課題認識>

本業務は、“みんなごと”のまちづくり推進事業の一環として、「まちづくり・お宝バンク」取組提案団体の活動支援による市民のまちづくり活動の充実を目的に行われているものである。既存の取組提案者に対する適切な支援活動により活動の充実を図ることと、まだ取組提案は行っていないが、すでに活発な活動を行っている団体を支援し、お宝バンクへの登録を促していくことが業務の2本柱である。こうした活動により、「まちづくり・お宝バンク」を京都のまち・市民にとって本物の『お宝』にしていくことが本業務のめざすところだと考える。

こうした認識に基づく今後に向けた活動としては、取組提案者の中から支援を必要としている団体を的確に探し出して市民サポーター派遣を行って成果につなげていくことと、すでにレベルの高い活動をしている団体を新たな取組提案者に加えていくことが考えられる。これらを実施していくことにより、お宝バンクの『お宝』度をさらに上げていくことが今後の課題と認識する。

2. 派遣業務広報

<実施内容>

(1) 市民サポーター・派遣団体募集チラシの作成

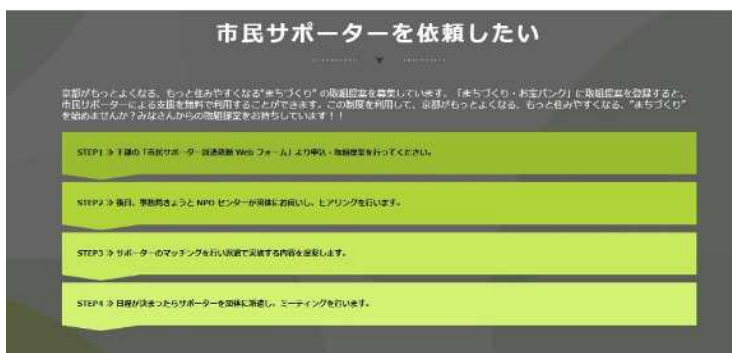
従前のチラシは、団体からの派遣依頼と新規サポーターの募集の両方を目的として作成してきた。現在、市民サポーターには一定数の登録者があり、その人数をさらに増やすよりも実際の稼働率(サポーターとして活動すること)を高めることを優先すべきだと考え、本年度は市民サポーターの派遣依頼を受けることを主眼に置いたチラシを制作した。そのため、実際の派遣時の写真と利用者の声を共に表面に大きく配して、見る人に活動のイメージを持ってもらいやすくなるように工夫した。

印刷部数：3,000部 主な配布先：市内各公共施設、区役所のカフェ事業や交付金説明会場など



(2) 「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務特設ページの設置

平成 29 年度に設置した、きょうとNPOセンターホームページ内の市民サポーター派遣業務に関する特設ページを更新し、より見やすくなるようにデザインをリニューアルした。

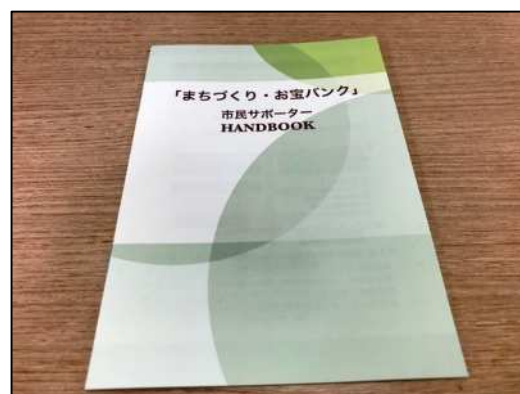
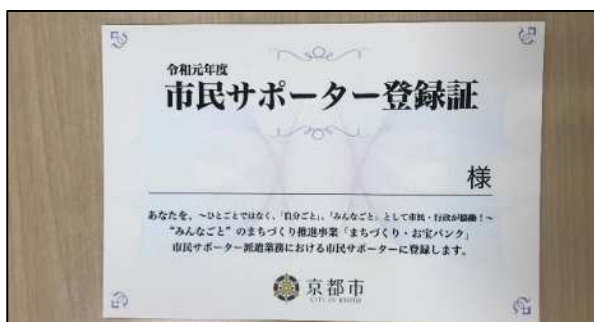


3. 市民サポーターに関すること

<実施内容>

(1) 市民サポーター登録証・ハンドブックの作成と配布

登録済みの市民サポーターのモチベーションの維持を目的に、昨年度に引き続き全ての市民サポーターに「市民サポーター登録証」を交付した。また、新たに登録された市民サポーターには「市民サポーターHANDBOOK」の配布を行った。このハンドブックは、派遣時に注意すべきマナーや守秘義務について、また実際のサポート活動を行うときのミーティングの組み立て方などについて、現場に行った際に行われることの詳細や留意点を簡潔に解説したものである。



(2) メールマガジン「市民サポーター通信」の発行

今年度からの新たな取り組みとして、事務局から登録サポーターへの定期的な情報提供ツールとして、メールマガジン「市民サポーター通信」の配信を始めた。5月以降の毎月1回と創刊号、臨時号3回で計15回発行した。コンテンツとしては、市民サポーターの派遣状況、市民活動に関するミニコラムを毎号掲載とし、それ以外には、市民サポーター派遣制度に関するイベントの告知や、京都市市民活動総合センターの市民サポーターに適した講座情報の提供などをタイムリーに行った。

4. 市民サポーター登録の受付と更新

本年度は新たに4名の市民サポーターの登録を行い、総登録人数は82名となった。

登録サポーターのスキルについて（重複あり）

市民サポーター登録者数 82 名の内訳

（令和2年3月末）

一般 51 名、京都府行政書士会 31 名

男性 56 名（一般 34 名、京都府行政書士会 22 名）

女性 26 名（一般 17 名、京都府行政書士会 9 名）

会計	15 名（一般 6 名、書士会 9 名）
NPO 法人事務	23 名（一般 13 名、書士会 10 名）
組織診断・基盤強化	15 名（一般 11 名、書士会 4 名）
人材育成	18 名（一般 13 名、書士会 5 名）
資金調達	17 名（一般 9 名、書士会 8 名）
ボランティアマネジメント	10 名（一般 9 名、書士会 1 名）
組織マネジメント	21 名（一般 16 名、書士会 5 名）
事業マネジメント	26 名（一般 19 名、書士会 7 名）
広報	14 名（一般 9 名、書士会 5 名）
デザイン	4 名（一般 3 名、書士会 1 名）
外国語・異文化交流	4 名（一般 3 名、書士会 1 名）

5. 研修・交流会等

実施内容

(1) 「市民サポーター×団体 マッチング会」

日時：10月5日（土）14：00～16：00

会場：京都経済センター 6-G 会議室

参加：サポーター8名、5団体

前年度は京都府行政書士会の協力により市民サポーターと団体による相談会を実施し、3件の派遣実績につながった。今年度は対象を登録サポーター全員に広げ、市民サポーター派遣を依頼する団体とのマッチング会を実施した。

団体ごとに活動内容や現在の課題をプレゼン形式で発表してもらったのち、それぞれの団体ブースで市民サポーターからのヒアリングを実施した。個別ヒアリング時間の終了後、市民サポーターには、自分のスキルや経験をもとにそれぞれの団体に対してどのようなサポートが可能かをシートに記入してもらい、これを参考として事務局がマッチングを行った。結果、4団体に8名の市民サポーターのマッチングが成立した。

個別ヒアリングは1団体当たり5分程度の時間しか設定することができず、時間不足との声がサポーターから聞かれた。また、団体の派遣依頼内容と市民サポーターのスキルのマッチングが難しいケースもあり、同様の催しを行うときは、予めある程度テーマを絞って団体、市民サポーター双方の参加者を募集するといった工夫が必要と感じられた。

<マッチング会 会場写真>



「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣

市民サポーター × 団体 マッチング会

開催日時 2019年10月5日（土）
14：00～16：00

会場 京都経済センター 6階会議室 6-G
〒617-0001 京都市伏見区西本町1-1-1 京都経済センター6階

市民サポーター×団体 マッチング会とは?

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣制度では、団体の課題を把握し、様々な相談・援助・支援を行う市民サポーターとマッチングし、団体の課題を解決するためのサポートを行います。今年度は登録市民サポーターと団体のマッチング会を開催しました。

このマッチング会では、団体のみなさんのお悩みや課題をサポーターと共有し、解決のための助言を伺います。実際に派遣を希望している方、市民サポーターとのマッチングしたい、後援・賛助の依頼を希望します。

参加費の負担を軽減するために団体の負担を軽減するための取り組みを実施しています。

募集の数 6名

申込方法 お名前・団体名・電話番号・メールアドレス（またはFAX番号）を記載の「申込申込書」を封筒に入れて「申込書」の裏面に貼付し、お名前・団体名・電話番号をFAXにてご連絡ください。

こんな市民団体 募集します!

連絡申込先

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター事務局
〒617-0001 京都市伏見区西本町1-1-1 京都経済センター6階

メール: otakarabank@kyoto-npo.org
電話: 075-744-0944
FAX: 075-744-0945
郵便: 伏見区（くおあ） 伏見

市民サポーター派遣依頼の件に関しまして

市民サポーター派遣依頼は、お宝バンクのホームページから、お問い合わせフォームからお問い合わせいただけます。お問い合わせフォームからお問い合わせいただく場合は、お宝バンクのホームページからお問い合わせいただけます。

※「まちづくり・お宝バンク」の取組は、お宝バンクの取組です。

※「まちづくり・お宝バンク」の取組は、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。

※お問い合わせは、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。

※お問い合わせは、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。

※お問い合わせは、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。お宝バンクの取組は、お宝バンクの取組です。

申し込みフォーム

10/5 「市民サポーター × 団体 マッチング会」参加申込書

氏名	
団体名	
電話番号	
FAX/メール	

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター事務局についてお問い合わせの際は、お宝バンクのホームページをご覧ください。

<https://otakarabank.kyoto-npo.org>

(2) 「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣 報告・交流会 (中止)

日時：令和2年3月11日(水) 18:30~20:30

会場：ひと・まち交流館 京都 第4会議室


プログラム内容

1. 基調講演『プロボノって何だろう? - 「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣への期待 - 』 杉岡秀紀氏 (福知山公立大学准教授)
2. 体験談トーク 大松有香氏 (NPO法人まなあそび 代表理事)
3. 参加者交流会

今年度のサポーター派遣業務の実施報告と団体・サポーター間の交流を図るため、報告・交流会を企画した。当業務に類似する、国内における専門的スキルを活かしたボランティア制度の紹介やその実施状況などについての外部有識者による基調講演も企画した。しかしながら、コロナウィルスによる新型肺炎が流行する状況の中、本報告・交流会についても中止することが望ましいと判断し、事業の実施元である京都市市民協働推進担当と相談のうえ、開催を見送ることとなった。

“みんなごと”のまちづくり推進事業
「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣
報告・交流会

あんなに悩んでいたのに、サポーターに相談して一挙解決!!




「まちづくり・お宝バンク提案者」と市民サポーター登録者の方々にお集まりいただき、講演や事例発表、情報交換などを通して、京都のまちづくりにむけた活動がさらに活性化することを目的に、交流会を開催します。

当日は、基調講演のほか、制度を利用された団体の方をゲストに迎え、サポートを受けた内容やその成果、制度についての感想などを語っていただきます。

これからまちづくり活動をしようという方も、自分の経験をまちづくり活動の支援に役立てたいという方も、ぜひご参加ください。

日時：令和2年3月11日(水) 18:30~20:30
会場：ひと・まち交流館 京都 3階 第4会議室



プログラム (予定)

18:30~	開会あいさつ
18:35~18:40:	「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣制度の説明
18:40~18:50:	サポーター派遣制度の利用状況報告
18:50~19:30:	基調講演 杉岡 秀紀氏 「(仮) 社会におけるプロボノの役割」 (公立大学法人福知山公立大学 地域経済学部 准教授 北近畿地域創生センター長)
19:30~19:40:	休憩
19:40~20:00:	特定非営利活動法人まなあそび 代表理事 大松 有香氏による体験談トーク
20:00~20:25:	参加者交流会
20:25~20:30:	閉会あいさつ

体験談トーク参加団体

特定非営利活動法人まなあそび 大松 有香 さん
小学生の自律性を育てる「遊びながら学ぶ」イベントを開催・運営する団体です。2014年から活動を開始し、昨年11月にNPO法人格を取得し、さらに活動の充実を図っています。
スタッフの中には複数の現場小学校教員がいて、こどもだけではなく保護者の大人にも「こどもの自律性を育てる」ための教育を体験してもらった活動を行ってられます。
団体の広報活動には現在もフェイスブックやツイッターなどのSNSを利用されていますが、さらに効果的に活用しようと、市民サポーター派遣を利用されました。また、助成金を獲得するために、助成団体の共感を得やすい申請書の書き方を会得したいということで、さらに1件の市民サポーター派遣も利用されています。

申し込み・問い合わせ先 (事務局) ※申込〆切3月10日(火)


市民サポーター事務局：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター (担当：久留宮、近藤)
氏名、電話番号、団体名を記載いただき、電話、ファクス、電子メールでお申し込みください。
手話通訳・要約筆記・保育についてご希望の方は、3月1日(日)までにお申し込みください。
電話：075-744-0944 FAX：075-354-8723 Mail：office@kyoto-npo.org

(※)「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣制度

「まちづくり・お宝バンク」取組提案の実現支援策の一つで、仕事や様々な活動で培った知識や経験を、社会のため、まちづくりのために活かしたいと希望される市民の方々に「市民サポーター」として登録し、派遣依頼のあった「まちづくり・お宝バンク」取組提案者とのマッチングを行い派遣し、広報や助成金申請などのサポートを行う制度。

制度の詳細&派遣依頼&サポーター登録はこちらから!!

<http://kyoto-npo.org/archives/1188> (きょうとNPOセンター)



市民サポーター事務局：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター
京都府下京区西三条通新町東入ル角第52 一ノ木ビル3階 fkg 四号

以上